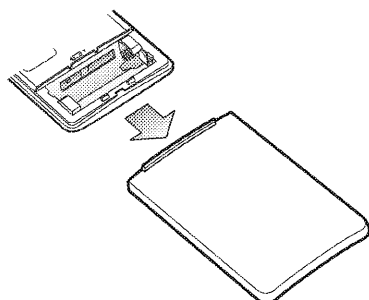
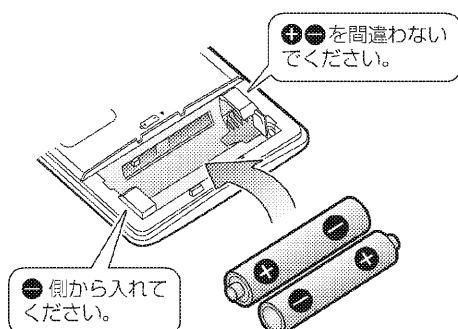
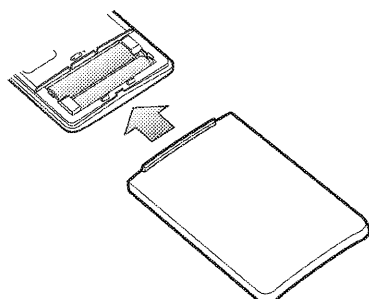
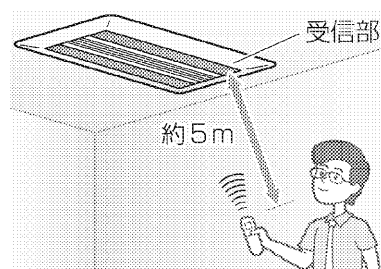
送信部
信号を送ります。
表示部
運転状態を表示します。
（図は説明のため全部表示しています。）
表示部の保護シートは使用時にはがしてください。
13ページ
温度調節ボタン
温度を調節します。
18ページ
パワフルボタン
冷房・暖房の風量・能力をパワーアップして運転します。
14ページ
風向１・２ボタン
上下風向を調節します。
15ページ
入タイマーボタン
運転を開始するまでの時間を設定します。
15ページ
タイマー取消ボタン
タイマー予約を取り消します。

運転前の準備

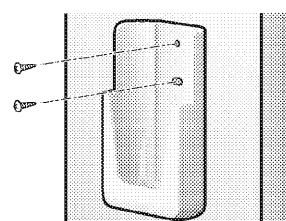
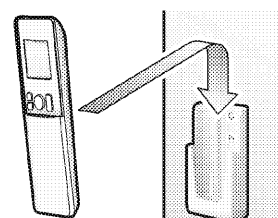
リモコン

電池を入れる

**ふたを矢印の方向へ
スライドさせて、取り外す。**

**2 単4形アルカリ乾電池を
2本入れる。**

**3 ふたを矢印の方向へ
スライドさせて、閉める。**

使いかた

- リモコンの送信部を室内ユニットの受信部に向けてください。カーテンなど信号をさえぎるものがあると作動しないことがあります。
- 受信できる距離は約５ｍです。
（角度、方向によって受信距離は異なります。）

壁などに取り付ける場合

1 信号が受信できる場所を選ぶ。

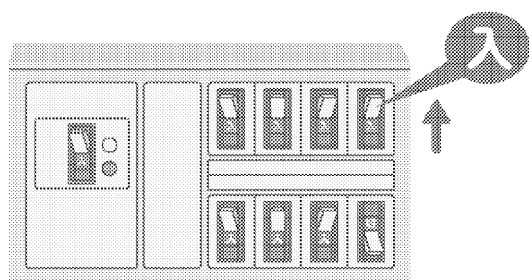
**2 リモコンホルダーを付属の
ネジで壁や柱などに取り付ける。**

**3 リモコンをリモコンホルダーに
入れる。**

電池について

- 交換の目安は約１年ですが、リモコンの表示部が薄くなり受信されにくくなりましたら、２本同時に新しい単４形アルカリ乾電池と交換してください。
- 付属の乾電池は、最初にご使用いただくために用意しているもので、１年に満たないうちに消耗することがあります。

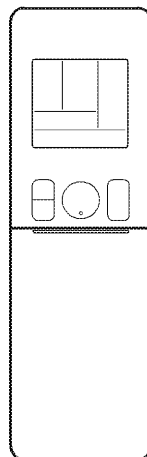
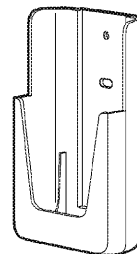
室内ユニット

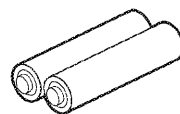
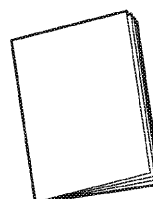
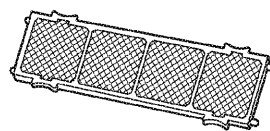
フィルターを取り付ける

光触媒空清フィルターを取り付ける。

22ページ

ブレーカーを入れる

●ブレーカーを入れると、各部の動作チェックを行います。

付属品

リモコン

リモコンホルダー

リモコンホルダー取付ネジ（黒色・２本）

単４形アルカリ乾電池（２本）

取扱説明書

光触媒空清フィルター（２枚）

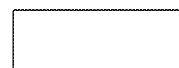
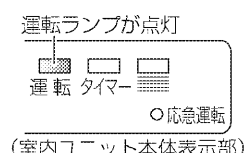
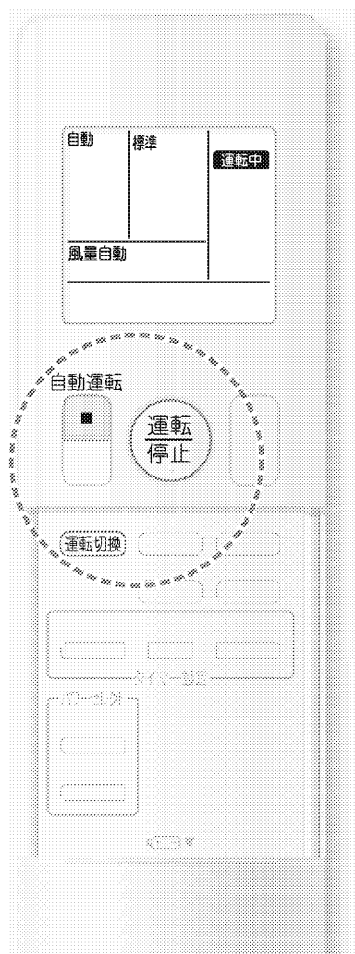
保証書

運転モードを設定する

運転ランプが点灯

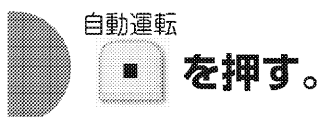
運転　タイマー

○応急運転

（室内ユニット本体表示部）

自動運転

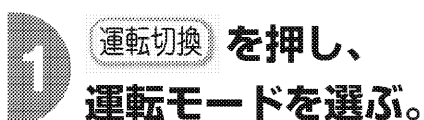
ワンタッチ操作で室内・屋外温度に応じた自動運転を行います。

自動運転

 を押す。

- 自動運転を開始します。

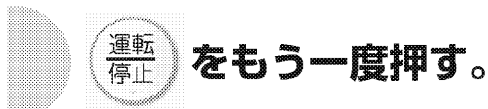
運転モード選択

自分に合ったお好みの運転を選べます。

1 運転切換 **を押し、運転モードを選ぶ。**

- 押すごとに下記のように運転モードが切り換わります。

2 運転/停止 **を押す。**

停止したいとき

をもう一度押す。

- 運転ランプが消灯します。

自動運転について

- 自動運転は、運転開始時の室内・屋外温度に応じて、自動で運転モード（ドライ・冷房・暖房のいずれか）、設定温度を選びます。
- 設定温度と運転モードは運転中定期的に見直します。
お好みに合わないときは、温度ボタンで微調整していただくか、運転モードを変えてください。

暖房運転について

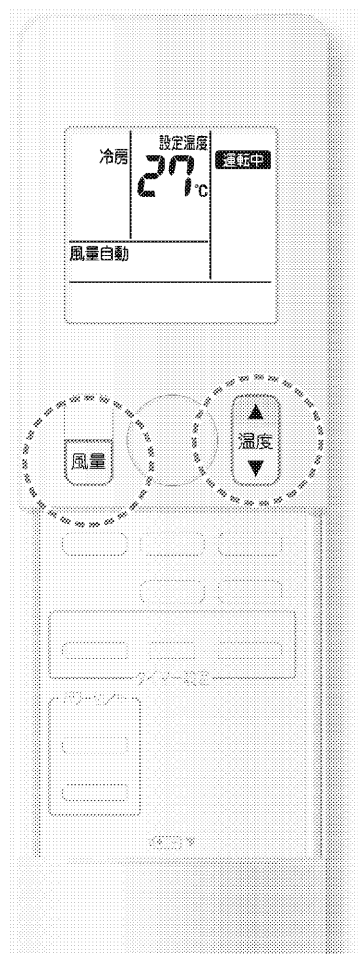
- 屋外温度が下がるにつれ暖房能力が低下します。暖まり不足の場合には他の暖房器具の併用をおすすめします。
- 暖房運転中、室外ユニットに霜が付くと能力が低下するため、霜を取り除く運転（除霜運転）をします。
- 除霜運転中、室内ユニットからは温風が出ません。

ドライ運転について

- ドライ運転は、弱めの冷房運転と停止を適切に制御して湿気を取ります。
- リモコン設定と除湿効果、室内温度は次のような関係があります。

リモコン設定
－2℃・標準・＋2℃
除湿効果
高　い ←→ 低　い
室内温度
下 が る ←→ ほぼ同じ

- 室内温度より屋外温度が低い場合、除湿効果が低くなります。

温度・風量を調節する

温度を変えたいとき

お好みの温度にします。

を押す。

風量を変えたいとき

お好みの風量にします。

運転中に

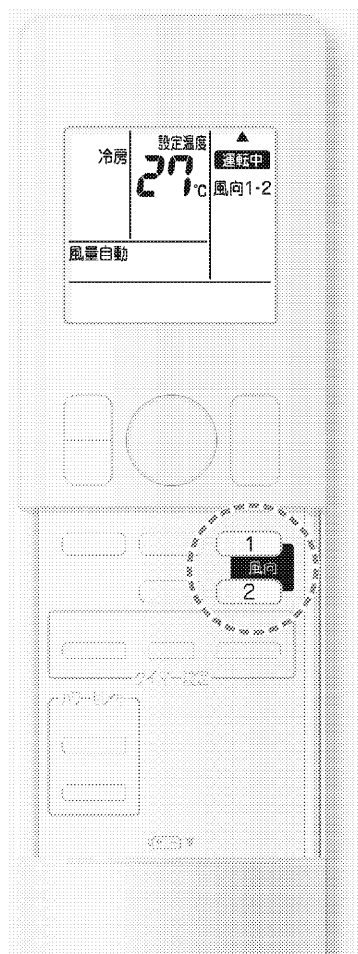
を押す。

● 押すごとに風量が切り換わります。

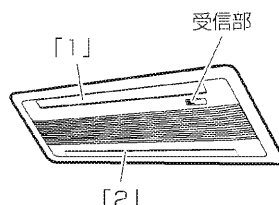
ニオイないスについて

● 風量設定が「自動」のとき、ドライ・冷房（自動で選択された場合を含む）運転を開始すると、室内ユニットにこもったニオイが出るのを抑える機能が働くため、すぐに風が出ません。約40秒お待ちください。

変更したい設定		運転モード				
		自動	ドライ	冷房	暖房	送風
	▲温度▼	「−5℃」〜標準〜「+5℃」	「−2℃」〜標準〜「+2℃」	18℃〜32℃ 〈おすすめ温度〉26℃〜28℃	14℃〜30℃ 〈おすすめ温度〉20℃〜22℃	温度は変えられません。
	風量	自動・しずか	自動	風量 微・弱・強 「自動」または「しずか」のほか「微」から「強」まで5段階で選べます。		

風向を調節する

上下、左右の気流調節ができます。

上下の風向を変えたいとき

風向１・２の区分は、受信部側が「１」その反対側が「２」となっています。

風向１の場合

運転中に **1 を押す。**

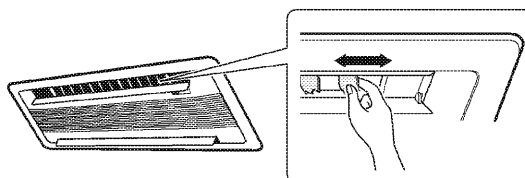
- フラップ１が自動で上下に動きます。
- もう一度ボタンを押すと、ボタンを押したときの位置でフラップが止まります。

風向２の場合

運転中に **2 を押す。**

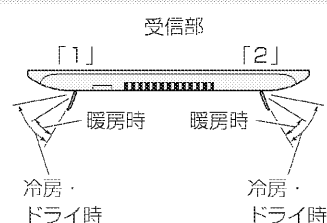
- フラップ２が自動で上下に動きます。
- もう一度ボタンを押すと、ボタンを押したときの位置でフラップが止まります。

左右の風向を変えたいとき

ルーバーを持って、左右に動かします。（左右５枚ずつ別々に操作できます。）

⚠ 注 意

- 左右の風向調節の際は、丈夫で安定している台を使用し、足元に十分注意してください。

上下の風向調節について

- フラップが自動で上下に動いているとき、その動く範囲は運転モードに応じて異なります。（下図）

- 風向１と風向２は同時に行うことができます。この時両方のフラップは同じ動きかた（スイング）になります。
- フラップが自動で上下に動いているとき運転音が変化する場合があります。

お知らせ

- 上下の風向を固定する場合、冷房・暖房効果を高めるために、暖房運転時はフラップを下向きに、ドライ・冷房運転時は上向きでご使用ください。

お願い

- 上下の風向調節は必ずリモコンで行ってください。無理に手で操作すると、正しく動かなくなることがあります。